

特別委員会を 設置しました



干拓のにおいに関する
特別委員会を
設置しました

6月定例会で、笠岡市議会は「笠岡湾干拓地内臭気対策特別委員会」を設置しました。

委員会を設置した背景

国内でも有数の大きさを誇る笠岡湾干拓地では、資源循環型畜産が大規模に行われており、笠岡にとって最大の資源と言えます。

一方で、干拓地で飼育されている牛の数は約8千頭であり、近い将来1万頭になる計画もあるようです。そこで発生する臭気の問題は笠岡に暮らす多くの市民にとって悩みの種であり、議会においても、何人もの議員がたびたび臭気の問題を訴え、市の執行部へ対策などを求めてきました。

臭気の問題（牛ふん処理）について畜産を営む事業者でも、いろいろな取組や先進地の視察なども行っているようですが、問題の解決には至っておらず、個々の業者の取組では限界があると思われます。

そんな中、この5月に、市内の多くの自治会やPTA連合会・畜産業者などから臭気問題を抜本的に解決するため、協議会の設置を求める陳情がありました。

議会としてもこれを重く受け止め、協議会の設置要請書を市長や、地元選出の国会議員、県議会議員、笠岡を管轄する備中県民局へ提出し、抜本的な対策を求めました。

さらに、議会でも干拓地内の臭気問題に取り組むため、特別委員会を設置し、調査をすることになりました。

メンバー（8名）

委員長	天野	喜一郎
副委員長	齋藤	一信
委員	坂本	公明
	妹尾	博之
	仁科	文秀
	樋之津	倫子
	藤井	義明
	三谷	渡



笠岡市長へ要請書を提出



備中県民局長へ要請書を提出